

令和4年度 第1回 引佐北部小中学校 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年 5月12日（木） 15時から16時30分まで
- 2 開催場所 引佐北部小中学校 図工室
- 3 出席委員 夏目 稔三、西岡 祥一、五十川亜純、鈴木 知成、岡部 裕子、西本 有一、
山本 培代、廣瀬 稔也、池本 知充
- 4 欠席委員 池田 信子、鈴木 計芳、加藤 隆康、小林 成彦
- 5 学校支援コーディネーター 廣瀬 稔也
- 6 学 校 遠藤 健司（校長）、山下 剛功（教頭）、遠藤 淳平（担当職員）、
田力 里枝（CSディレクター）
- 7 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし

9 協議事項

- （1）会長あいさつ
- （2）校長あいさつ
- （3）新規委員任命書交付
- （4）自己紹介
- （5）浜松市学校運営協議会規則確認
- （6）議長の選出について
- （7）前回議事録確認
- （8）熟議

【1】令和4年度学校運営の基本方針について 校長

【2】夢育やらまいか事業に対する意見書について 教頭

- （9）連絡事項 教頭

- （10）市教委総務課から

- 10 会議録作成者 CSディレクター 田力 里枝

11 会議記録

教頭より、委員総数13人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- （1）会長あいさつ

運営委員会も3年目になった。未来に希望を持った学校の学びを目指したい。

- （2）校長あいさつ

新年度が始まって1ヶ月あまりが過ぎたが、児童生徒みな元気に過ごしている。

- （3）新規委員任命書交付

新しいメンバーの池本知充さんの紹介があった。

(4) 自己紹介

各自、ひとことずつ自己紹介をした。

(5) 浜松市学校運営協議会規則確認

総務課の小川さんから、浜松市学校運営協議会規則（別冊）の要点説明があった。

(6) 議長の選出について

今回の議長を西本委員に依頼し、全員異議なくこれを承認した。

(7) 前回議事録確認

前回の会議録の資料を各自で見えていただくようお願いした。

(8) 熟議

【1】令和4年度学校運営の基本方針について

学校教育目標は「心豊かにたくましく生きる児童・生徒の育成」、副題を「ふるさとを愛し、ふるさとの自治を担う」とした。本年度のキーワードは「たくましさやさしさ、そしてかしこさを身に付けよう」とし、子どもたちに投げかけている。先生の中には、教室に掲示して意識付けをしている人もいる。

ふるさと科の再編は3年計画の最終年度になった。教科とふるさと科の関連性を意識して指導をすすめる。

国際コミュニケーション科を全ての教員が携わるようにしていく。英語に限ることなく、世界に目を向けられるような授業作りを、担任と英語教員で行う。

いじめについて。子供のいじめの表れを見逃さない。早期発見、丁寧な対応を進める。

以上のように、別紙資料に基づき学校運営基本方針について校長から説明があり、以下の熟議がされた。

- ・昨年度の協議会の意見を取り入れてくれてありがたい。それぞれの学年で学ぶべきことはしっかり身に付けさせることが、まずは大事である（夏目委員）
- ・ふるさと科、国際コミュニケーション科は10年を過ぎて、ふり返る時期に来ている。昨年の9年生はコミュニケーションの活性化を目指して、ベンチプロジェクトを実現させた。子どもたちなりの課題のとらえ方があり、それが成功体験に繋がるといい。販売に限らず、いろいろな経験ができるようにさせたい。（廣瀬委員）
- ・ベンチプロジェクトは地域の方の協力もいただきながらできた。きりやま販売は学年を越えての活動なので、個人の考えや探究からは外れる面がある。今年は人数減少により、課の再編が必要になっている。生徒主導ですすすめているので進捗は早くはない。（遠藤校長）
- ・ベンチプロジェクトを多くの委員が知ったのは昨年の10月。ふるさと科は授業なので委員が入って行きにくい。1年間でまとめるには、4、5月に地域に出て、聞き込みをして発展させていくことも考えて欲しい。（夏目委員）
- ・棚田の指導をしているが、棚田の特徴以外に、稲作りの基本を知って欲しいという思いがある。地域に出て調べて欲しい。（西本委員）
- ・田に関わる様々な事柄が探究のヒントになるのではないかと。（夏目委員）
作物を作ること、1年で結果が出るものは、体験の材料としていいと思う。（西本委員）

- ・きりやまの活動の中で、子供だけでできない部分を保護者や大人が携わることはできないか。ベンチプロジェクトでは組み立ての時に、子供だけで役割分担を上手にやれていた。できないと子供に声を上げさせることも一つの知恵と思う。(五十川委員)
- ・ありがたい意見。子供に伝えたい。ベンチプロジェクトの成功体験は将来生きてくると思う。(山下教頭)
- ・色々なご意見をいただき非常にありがたい。今は取組時間が思うようにとれないのが問題だ。今年度は再編を第一課題にしたい。(遠藤校長)
- ・どうやってふるさと科で力を付けさせるかを考えてすすめている。協議会での熟議も反映させていきたい。(遠藤教諭)
- ・販売活動の中で、脱プラスチックの発想も生かしたい。(廣瀬委員)
- ・SDG'sは学校としてはどう取り組んでいるか。(西本委員)
- ・学校としての特別な取組はないが、浜松市として取り組んでいるものに合わせ、各教科・領域でできる範囲で指導内容に組み入れている。(遠藤校長)
- ・子供の力を伸ばす経営になっている。教科の学びの充実がふるさと科につながる。(西岡委員)
- ・いじめに関して。自己肯定できる場所を見つけてほめたい。(山本委員)

協議の結果、全員異議なく令和4年度学校運営の基本方針について承認した。

【2】夢育やらまいか事業に対する意見書について

意見書の様式の説明が教頭よりあった。

(9) 連絡事項

- ・次回の協議会は7月6日(水)に本校で行う。(山下教頭)
- ・次回の熟議事項に希望があれば、学校まで連絡ください。(山下教頭)
- ・4月28日に行われた☆未来デザイン会議ミーティングについての報告があった。今年度から☆未来デザイン会議組織委員会が地域学校協議本部となり実働機能を担っていく。(資料参照)(廣瀬委員)

(10) DVDの視聴。学校運営協議会委員研修会での講話を視聴した。

- ・今やっている会議が視聴していることと同じ。ふるさと科、国際コミュニケーション科への考え、意見交換をするのが、意味のあること。(総務課小川)